

三宿小学校避難所運営訓練

10月5日(土)12時40分に、震度6弱の地震発生想定で、訓練は始まりました。先ずは避難所になる学校の安全確認。それから避難者の受け入れが始まります。避難所運営は、四つの班に分かれ以下を実施しました。

【総務・情報班】

受付の案内～カードの集計
特設公衆電話の設置

【避難所班】

体育館内の設営
ガスパワー発電機の操作

【給食・物資班】

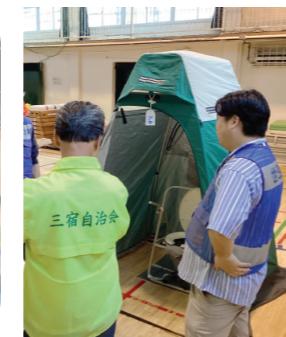
防災グッズ展示コーナー、
非常食試食コーナーの運営

【救護・衛生班】

マンホールトイレの設置訓練



体育館内



マンホールトイレ



試食風景



防災グッズ
手動ラジオライト



特設公衆電話

今回は、世田谷ボランティアセンターの方が、避難所を知る貴重なお話を聞いて下さいました。大きな災害が起きない事を祈るばかりですが、

★川柳を募集します★

応募方法：池尻まちづくりセンター一階の川柳BOXにご投函下さい。用紙は自由です。（ペンネームでも可）

米騒動　店頭並べば　びっくり価格
みえてくる　記録と記憶　大変だあ
中秋の　味方のたまごも　かき氷
池尻に　名月見ながら　くしみ
金黒羽白　いつかへる
い　　太極拳好
縹紫　さくら　まだづく
ひろりん　ひろりん　ここにいるよ

●「わんぱち」は、池尻まちづくりセンターで配布しています。また、区のホームページには、「わんぱち」をはじめとして、地区の情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

池尻まちづくりセンター 検索



広報部会員

池尻東親会	徳永 静	池尻4丁目町会	津村 和代
池尻西町会	落合ともこ	池尻団地自治会	野田 俊和
池尻南睦会	小野 克己	三宿自治会	小林 正典
池尻北自治会	山田 郁枝	三宿北町会	高久みどり



・・・池尻・三宿地区8町会・・・

わんぱち

町長新任のご挨拶

池尻4丁目町長に就任いたしました石川伸雄です。

私はこの池尻で生まれ育ち、地域の皆様に支えられてきました。今度は町長として、恩返しの気持ちを胸に、地域の発展と安全に尽力してまいります。

防災士および消防団としての経験を活かし、地域の防災意識の向上と災害時の備えを強化していきたいと考えています。地域全体で災害に対する準備を進め、安心して暮らせる環境づくりを目指します。

します。

また、皆様が気軽に参加できる活動を通じて、住民同士の交流を深める活動にも力を入れていきたいと思っています。

これからもご意見やアイデアをお聞かせください。一緒に池尻4丁目をより良い街にしていきましょう。

どうぞよろしくお願ひいたします。



池尻4丁目町長
石川 伸雄

8月23日(金)
青少年池尻地区委員会の
主催で実施されました。

夏季ひきりエーション

池尻小学校、三宿小学校、多聞小学校の3年生から6年生の児童58名と地域の大人などの引率者、そのお子さんなど総勢87名が、池尻郵便局前から大型バスに乗り、平和の森公園や日本科学未来館に行きました。

子どもたちからは、「友達とたくさん遊べて楽しかった」「大人の人と色々な話ができた」といった声を聞くことができました。参加した子どもや大人たちにとって充実した一日となつたようです。

日本科学未来館では、宇宙や地球環境などを学びながら、地球の未来などを最新の科学データやツールとともに考えるコーナーに、子どもたちちは興味津々でした。

子どもたちからは、「友達とたくさん遊べて楽しかった」「大人の人と色々な話ができた」といった声を聞くことができました。参加した子どもや大人たちにとって充実した一日となつたようです。



▲【昼食】

広場で食べるお弁当。食後は公園を散策したり、遊具で遊んだり、楽しい時間を過ごしました。

▲【平和の森公園】

丸い桶に乗り、バランスをとりながら進みます。池に落ちてしまった子もいました。

行程

池尻郵便局前
▼
平和の森公園
フィールドアスレチック
▼
大森ふるさとの浜辺公園
(お昼ごはん)
▼
日本科学未来館
▼
池尻郵便局前

池尻庚申塔のお話し

池尻庚申信仰の始まり



しんげんじ
申元治元年（1864）、当時の池尻村と池沢村の信者により作製された「庚申堂議定連名帳」には、「それ以前にも相当信者が居て庚申塔が維持されていた」と記す。



【庚申信仰について】

庚申信仰は、中国の道教に基づく信仰です。我が国に庚申信仰が伝えられたのは平安時代の初め頃で、まず宮廷貴族の間に取り入れられました。室町時代から一般の人々の間にも普及し始めた庚申信仰は、江戸時代になると全国各地に広まるようになりました。

庚申信仰で崇拝対象として祀られているのは、仏教式では青面金剛が多く、観音菩薩や阿弥陀如来の場合もあります。神道式では猿田彦を本尊としています。

庚申さまのご利益は、「作の神、商売繁盛の神、出世神、治病の神、病気除けの神、厄病除けの神、寿命の神、長生きの神、災い除けの神、悪魔退治の神、町内の守り神」等々です。

【池尻庚申塔について】

現在区内で確認されている205体の庚申塔の中、二体がこのお堂に安置されています。一体は延宝八年(1680)の庚申の年。他の一体は次の申(ケル)年の元禄五年(1692)の造立です。この庚申塔は、邢鬼をぶんづけた姿の青面金剛とその下に3猿を彫った石仏です。この石仏は江戸城築城の際、集められた石工に造らせたと云われており、江戸時代以降の石仏を特に庚申塔と呼びようです。

池尻庚申塔のお祭りは毎年4月15日、目黒常円寺の住職により先祖の供養と参拝者の幸せを祈り、お経をあげ盛大に行われています。この長い歴史と先人の心を支えてきた庚申様を守護し、地元の人々との親睦を深めて次の世代に引き継ぎたいと思っています。

平成18年 池尻庚申会

池尻・三宿地区近隣の庚申塔



【昔ばなしの広場】 目黒の庚申様の講

「今夜は多治平の家だったな」

「ひとふろ浴びてから行くべえ」

与吉と清の二人は辻の庚申様に手を合わせて右と左に分かれました。その日は「庚申さー」の日で、おおっぴらに呑んでさわげる農民のレクリエーションの夜でした。

60日目にまわってくる庚申（かのえさる）の日の夜、人間の腹の中に住んでいる三尸（さんし）の虫が、寝ている間に天にのぼってその人間の罪状を天帝につけるのです。天帝が大きな帳面に罪状を書き込んでその人間の寿命をきめるとか。だからこの日は寝られないのです。

「お晩です」とみんな多治平の家に集まっています。床の間がわりの壁に庚申様の掛け軸がかかり、一升瓶が二本と、お米、するめ等が供えられています。集まつた皆は掛け軸に長い間「おまいり。」をするのです。多治平のかあちゃんや手伝いに来た人たちが長いテーブルの上に御馳走を運んでき

ました。

「さあ、やってくれや」テーブルの上には、さといも・こんにゃく・大根の煮ころがしが主役で、季節の山菜や筍も出ることがあります。

「おれは大丈夫だ。この60日間何を悪いことはしないぞ」

「うそこけ、この間お地蔵様に上がったボタ餅、まだ温いのに食つたべえ」

「ハハハ・・・バレたか」

「おめえも庚申様に小便かけたでねえか」

「それでも皆大病もなく。よかったです」

「そうだ、そうだ」

「この里芋誰が煮ただ、うめえなあ」

「この娘のお糸ちゃんだよ、きっと」

「ワハハ、よく味わつとけ・・・」

「さあ、呑め、呑め」

宴会は日が昇るまで続きます。おっかあや娘は一度も姿を見せません。男だけの講だったのです。

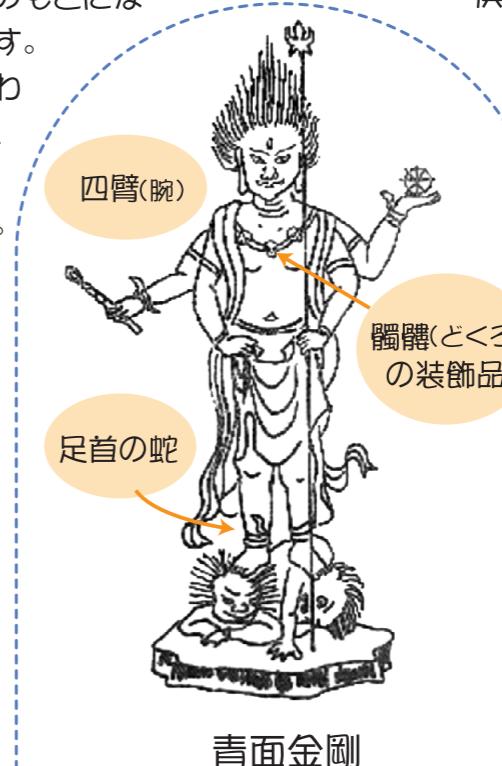
青面金剛 (しょうめんこんごう)

一般には「庚申さま」と親しまれているのが、青面金剛です。この神は病気をはやらせるという迷惑な神です。

なぜこのような神が信仰されたかといえば、悪い病気がはやらないようにそのもとになる神を鎮めようとしたからです。

疫病をはやらせる神にぶさわしく、青い肌に蛇を巻き付け、觸體の装飾品を身につけるなど、恐ろしい姿をしています。経典には四臂像が記されていますが、作例には六臂のものが多く、また二臂のものがあります。

この青面金剛が庚申さまと呼ばれるのは、中国の民間信仰である道教と集合したためです。仏教では青面金剛は帝釈天の使者とされ、病魔を払い除くということから、庚申信仰と混交して祀られるようになりました。



庚申講の庚申待ちについて

庚申講の人々は、庚申の日の夜は皆で米を持ち寄り。食事を取りながら夜を明かし朝まで日待ちをしましたが、時代の流れの中で、12時頃には切り上げて帰宅する人も出てきました。

庚申の日は、60通りの干支（干／甲・乙など10種類と支／子・丑・寅の12種類）が1年間をめぐるので、1年で6回（稀に7回）庚申の日があります。2024年は、2月26日・4月28日・6月25日・8月24日・10月23日・12月22日が庚申の日となりました。

《引用資料》

- ◎みどりの散歩道06 目黒区都市整備部みどり土木政策課『庚申のみち』
- ◎あるじでえNo.22 世田谷区教育委員会 民家園係『庚申さまの話』
- ◎世田谷せたがい第44号 世田谷区誌研究会『池尻庚申堂と常圓寺』
- ◎仏像がよくわかる本 瓜生中著 PHP文庫 PHP研究所『聖なる神々』
- ◎ふるさと世田谷を語る『講・庚申塔』